特集１

スマホの料金が断然安くなる！

知らなきゃ損！

「格安SIM」という選択

ITライター
村元正剛さん 監修

雑誌の編集や原稿執筆を手がけるプロダクション「ゴーズ」の代表取締役。iモード黎明期からモバイル市場をウォッチし、制作した関連雑誌・書籍は数知れず。

最近、スマートフォン選びの新しい選択肢として話題の「格安SIM」(※1)。スマホの利用料金をぐーんと安くして、便利に使ってみませんか？基礎知識からタイプ別のおすすめプラン、購入方法までご紹介します。

イラスト＝安藤 直　撮影＝小泉賢一郎

今、「格安SIM」が注目を集めている理由

「格安SIM」の魅力をお伝えしていく前に、まずこの「SIM」という言葉に説明が必要かもしれません。「SIM」とは、ケータイやスマホなどのモバイル端末一台に、必ず一枚装着されている契約者情報が書き込まれたICカードのこと。大手キャリア(※2)等の通信事業者は、SIMで利用者を特定しています。一方、「格安SIM」とは、あらたに参入した事業者が提供する、格安のモバイル通信サービス。今年5月に総務省が定めた「SIMロック解除(フリー)の義務化」によってスマホの利用料金が格安になるなど、脚光を浴びています。

※1 本特集では、MVNOが提供する格安SIMカード、およびそのカードを利用するサービスを総称して「格安SIM」と呼びます。
※2 NTTドコモ、au、ソフトバンクの3社。
※ 本特集の情報は、2015年9月18日(金)現在のものになります。

なるほど、安心。
そうだったんだ！

格安SIM、4つの誤解

「格安SIM」という言葉を聞いたことがあっても、『本当に安いの？』
『難しそう』といったイメージで二の足を踏んでいる人も多いのでは？
そうした、よくありがちな“誤解”について、
モバイル市場に詳しい、ITライターの村元正剛さんに質問してみました。

誤解 1

“格安”って聞くと、なんだか怪しいサービスに思えてしまいます。

これは総務省が推進している、
信頼できるサービスです。

「格安」と聞くとうれしい反面、なんとなく漠然とした不安を感じてしまうのですが……。

日本政府が普及を推進するサービスなのでご安心を（笑）。これまで大手キャリアは、自社端末で他社の通信サービスが使用できないよう、SIMにロック（制限）をかけていました。ですが5月、総務省が「SIMロック解除」を義務化し、スマホとSIMを自由に組み合わせて使えるようになった。つまり手持ちのスマホのまま、他社の格安プランに乗り換えられるんです。

なぜ解除されたんですか？

周波数（電波）の利用を許可されたキャリアが、市場を寡占して横並びの料金設定になるなど、利用者に不利な状況を防ぐためです。大手キャリアから回線を借り受けてサービスを提供している事業者を「MVNO」といいますが、このMVNOが、格安SIMを提供しています。

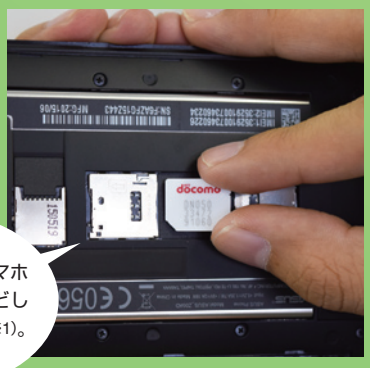
なるほど、大手キャリアと同じ回線を使っているなら、品質の面でも安心ですね！

編集部員カワチ…
監修・村元正剛…

「格安SIM」のスマホを使うために覚えておきたい用語

SIM（Subscriber Identity Module）カード

利用者を特定するためのIDを登録したICカード。SIMは訳すと「加入者特定モジュール」。これがないとネット通信や電話はできない。



SIMカードは、スマホの裏蓋を外すなどして挿し替えます（※1）。

MVNO（Mobile Virtual Network Operator）

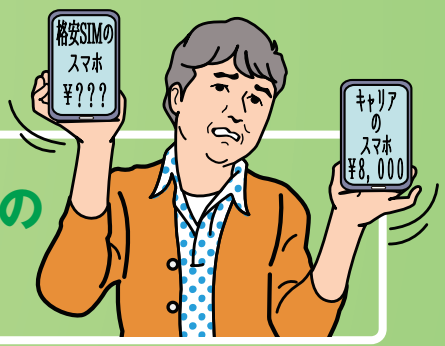
格安SIMカードを提供する通信事業者のこと。大手キャリアの通信設備や環境を借り受けることで、設備投資のコストを抑え、割安な通信サービスを提供している。

おもなMVNO
BIGLOBE
IIJmio
OCN
日本通信
楽天 など

※1 SIMカードの挿入方法はスマホの端末によって異なるので、取扱説明書に従って挿入してください。

誤解 2

格安スマホっていうけど、結局大手キャリアの料金とあまり変わらないんでしょ？



月々の利用料金は約半額になります（※1）。なんと、年間約60,000円の節約！

格安といっても、あとでいろいろプラスされて、結局大手キャリアと料金が変わらないってことはないですか？

下の例を見てください。料金体系は、スマホの端末代金、月額基本使用料、通話料のみとシンプルで、余計なお金はかからないことがわかります。BIGLOBEのライトSプラン（月間データ通信量6GB）の場合、月々約4800円です。

僕は今、大手キャリアのスマホを使っていますが、月間データ通信量5GBのプランで先月の料金は約8000円でした。3000円以上もお得なんですね。

大手キャリアのスマホは、かけ放題プランを含んで月々約1万円前後。格安SIMはかけ放題プランがないので、頻繁に電話をかける人はお得感は低くなります。ただ、月に100分間電話をかけても、格安SIMの方が経済的です。

端末は24カ月の分割払いで購入するのが一般的。大手キャリアは毎月一定額が割引されるサービスがあり、実質負担金は下がります。格安SIMのスマホは、端末代金は高いですがパケット通信料を抑えられるため、合計金額は安くなります。

端末の代金も毎月払うものなんですね？

月に約5000円安くなるということは、年間で約6万円もお得になるの!? これは確かに〝格安〟ですね！

通常のスマホの価格およびプランの一例

＊大手キャリアD社のスマホの場合

端末代金（AQUOS EVER SH-04G）	2,100円／月（24カ月）	1,525円／月
2年間の継続利用割引（月々サポート）	-575円／月（24カ月）	
基本使用料（電話かけ放題のプラン）	2,700円／月	8,000円／月
パケット通信料（データMパック／5GB）	5,000円／月	
インターネット接続サービス料	300円／月	
通話料	無料（国内通話はかけ放題）	0円／月

合計 **9,525円／月**

大手キャリアD社のシャープ製端末「AQUOS EVER SH-04G」（2015年6月発売）を新規で購入した場合。5インチのHDディスプレイ、防水、おサイフケータイを搭載し、2年間使った場合の端末の実質負担金は3万6,600円。国内通話がかけ放題だが、毎月の利用料は、格安SIMの約2倍になる。

MVNOのスマホの価格およびプランの一例

＊BIGLOBEの「BIGLOBEスマホ」の場合

1,980円／月（24カ月）	端末代金（AQUOS SH-M01）	
2,150円／月	基本使用料（BIGLOBE SIM 音声通話 ライトSプラン／6GB）	
650円／月（「BIGLOBEでんわ 通話パック60」（※2）を使った場合）	通話料	

月額 約5,000円も安い

1カ月あたり最大60分通話した場合

合計 **4,780円／月**

「BIGLOBEスマホ」のシャープ製端末「AQUOS SH-M01」を購入した場合。4.5インチのフルHDディスプレイを搭載し、ワンセグ、防水に対応するなど、キャリアのスマホと同等の性能を誇る。基本使用料が安いので、総費用がキャリアよりも大幅に安くなる。

＊このページで紹介しているプランの金額は税別価格です。
※1 これまでのスマホの月額利用料金が約10,000円の人の場合。 ※2 2015年10月1日よりサービス開始。

プラン選びのカギは、月間データ通信量！
自分の使い方に応じて最適なプランを選ぼう

さっきの料金プランで気になったのが、ＭＶＮＯと大手キャリアのプランで月間データ通信量が違っている点です。

いいところに気がつきましたね。プランは各社複数あり、料金は、それぞれ利用できるデータ通信量に比例します。データ通信量とは、インターネット利用の通信量です。ウェブの閲覧や動画鑑賞など、ネット利用が便利なスマホでは、データ通信量は重要な要素です。

それなら、必要なデータ通信量にマッチした価格のプランを選びたいですね（通信量の調べ方は下記参照）。

すでに大手キャリアのスマホを使っている人で、「データ通信量が５ＧＢのプランに加入しているのに、毎月２ＧＢしか使っていない」という人は意外と多くいます。データ通信量に合った格安ＳＩＭのプランを選ぶとお得です。

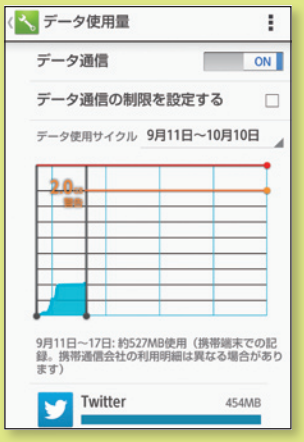
逆にネットをたくさん使いたいという人向けに、大手キャリアのデータ通信量と遜色がないプランはあるのですか？

データ通信量が10ＧＢを超えるプランもありますよ。より安さを求めるなら、通話機能がない「データ通信プラン」にすると、月々１０００円以下に抑えることも可能です。「電話はあまりかけないからＩＰ電話(※1)でいい」という人や、「通話はケータイ、ネットはスマホ」という2台使いの人は要検討です。

あなたが月々使っているデータ通信容量は？

データ通信量を調べる

すでにキャリアのケータイやスマホを使っている場合は、使用したデータ通信量を「設定」で確認できます。ただし、ケータイからスマホに乗り換える場合、ケータイ向けのウェブページよりもスマホ向けのウェブページのほうがデータサイズが大きいため、必要なデータ通信量は余裕をみておくといいでしょう。



Androidのスマホは、「設定」→「データ使用量」で確認が可能。iPhoneは「設定」→「モバイルデータ通信」で確認できる。

現在の料金と格安SIMの料金を比較

現在キャリアのスマホを使っている人は、実際にBIGLOBEの格安SIMのスマホに変更すると「いくら安くなるのか」をシミュレーションできます。BIGLOBEのサイトにある「料金シミュレーター」では、現状の月額料金を入力し、お好みのプランを選択すると、変更した時の月額料金と、現状の料金との価格差を表示してくれます。

●料金シミュレーター
http://join.biglobe.ne.jp/mobile/tool/price_simulator/

格安SIMサービスはオプションで選ぶ！

MVNO各社が提供する格安SIMのプランは、価格面では大きな差はありません。そこで目を向けたいのが、各社が提供しているオプションサービス。例えば、外出先で無料でWi-Fiに接続できるサービスを提供するMVNOなら、課金対象となるスマホのデータ通信量を減らせます。初めてスマホを使う場合は、操作に迷った場合に気軽に相談のできるサポートサービスが用意されていると心強いでしょう。

＊さまざまなMVNOが提供しているオプションの例

A社 スマホのデータのバックアップや、紛失時のリモートロックなど、サポートが充実。

B社 ファストフード店、新幹線、主要空港などで無料のWi-Fiを利用できる。

C社 毎月のスマホ利用料に応じてポイントがつくほか、提携ネットショップの利用で、購入時のポイントが2倍に。

D社 家族同士の通話料が20%引きになる。

※1 IP電話とは、インターネットを活用した通話サービスのこと。「ひかり電話」や、アプリの「Skype」、「LINE」の無料通話サービス（ネット通信料はかかる）などがこれに該当する。

パソコン活用に役立つ記事が満載！『サーイ・イサラ』のご購読はこちらから ≫≫